

おもしろいお宝の道を歩くパート②

今月は、6月号で特集した「おもしろいお宝の道」の後半です。後半もたっぷりと崖線の醍醐味を味わえます(キツイということです)。

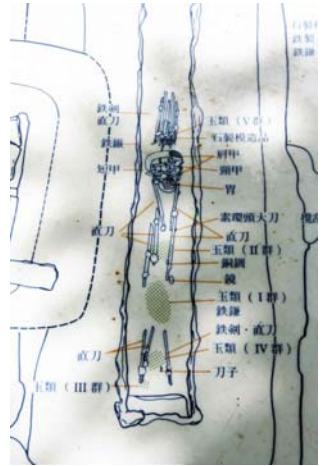
野毛大塚古墳



玉川野毛町公園の一角にある野毛大塚古墳は、墳丘の全長82m、高さ11m。帆立貝式としては全国最大級の前方後円墳です。勾玉やガラス玉などが出土し、現在は国立博物館に所蔵。



頂上には、何が、どこに、どのように埋まっていたかが分かるように案内板が埋め込まれていて参考になります。



六所神社



大きな鳥居が目印の六所神社は、旧野毛村に散在していた6つの寺社を合祀して、ひとつにまとめた神社。そのため祭神は六社それぞれの神様です。広く大きな神社です。



善養寺



丸子川にかかる赤い橋(大日橋)を渡って石段を上がると、一対の海駝の坐像が出迎える善養寺の本堂は奈良の唐招提寺金堂を模したものだ。本堂の前には、善養寺のカヤと呼ばれるカヤの大木が生育している。このカヤには豪族の娘が助けた沢蟹親子の恩返し伝説があり、そばには沢蟹や蛙、そして河童の石像が設置されています。その他にも境内にはガネーシャ神、石羊、布袋像などがあり、見るだけでも楽しいですよ。

ウラへ ◎今月から「てくたくぶっく」のポイントを用賀と玉川を交互にご紹介していきます。お楽しみに!

* てくたくぶっく #1 「玉電用賀駅跡」 *

明治40年(1907年)4月、用賀の街に玉川電車(玉電)が通りました。ガタゴトと路面を走る電車で多摩川の砂利も運んだのでジャリデンともよばれました。石油ランプを使っていた沿線の家々にも電灯がつくようになりました。用賀駅には折り返し所もでき、駅前にあった用賀梅林には赤坂や青山方面から子供たちが遠足にきたそうです。駅の待合室は子供たちの溜まり場となり、近所の子供たちもよく遊んだそうです。数々の出会いや別れの思い出を綴りながら、昭和44年(1969年)5月、玉川電車の廃止に伴い、玉電用賀駅もその姿を消しました。



当時の用賀駅

場所は現在工事中のパチンコ屋さんのところですよ